

【台湾】

9-10月の市場動向トピックス

- 2019年9月の訪日台湾人数は、前年同月比14.3%増の376,200人で9月として過去最高を記録。
- 2019年10月の訪日台湾人数は、前年同月比9.0%増の413,700人だった。
- 9月は、地方への新規就航や増便、チャーター便の運航による航空座席供給量の増加に加え、昨年発生した台風第21号の影響等による訪日者数減少の反動や航空会社のストライキに起因する航空運賃の値下げの影響があり、訪日者数は2桁の伸びを記録した。10月は、台風第19号の影響による航空便の欠航等があったものの、昨年は連休とならなかった国慶節が今年は4連休となった影響もあり、訪日者数の前年同月比は増加した。

9-10月の主なプロモーション活動

- 個人旅行化が進む台湾において、訪日旅行の新たな魅力を発信するツアーの造成・販売の働きかけのため、台湾の旅行会社を対象とした訪日旅行商品コンテストを実施し、9/20に上位8社を表彰した。10/6はリピーターを対象にまだ知られていない日本の魅力を発信するため、台北市でプロガーイベントを実施し、200名超の一般消費者が参加した。四国・中部地域の魅力やアクティビティを中心に地方での楽しみ方を発信し、訪日意欲を喚起した。
- 10/28-29に台湾からの訪日教育旅行の一層の拡大を図ることを目的とし、日台教育旅行交流会を実施した。台湾側約80名と日本側約120名が参加し活発な意見交換が行われ、交流会後に日本国内の各地方13コースに分かれて地方視察を行った。



(旅行商品コンテスト表彰式)



(プロガーイベント)



(日台教育旅行交流会)

- 東北地域プロモーション特設サイトを9/4にオープンし、プロガーによる旅行記事の公開及び、台湾の有名テレビ番組である食尚玩家とタイアップしたプロモーション動画を順次公開中。10/19には台北市で、プロモーション動画に起用したタレント盧彦澤氏を招いた一般消費者イベントを実施し、東北地域の魅力を発信した。イベントには200名を超える一般消費者が参加し、大盛況であった。プロモーション動画はVJ台湾公式サイト「日本旅遊活動」にも格納し、イベント参加者だけでなく広く一般消費者に効果が波及している。



(特設サイトキービジュアル)



(プロモーション動画)



(一般消費者イベント)